

# 広場西側交通島スペースの整備（たたき台）

## 1. スペース別環境形成（広場西側交通島スペース）

方針： 駅前広場の安全な横断と商店街をつなぐ歩行者空間づくり

基盤整備の整備概要：

直線的な歩行者動線を確保するため、交通島中央の植栽樹を撤去し、喫煙所の再整備をする。

## 2. 交通島整備の方向性

### (1) 歩行者動線の直線化

現在、交通島内の植栽樹により歩行者通路はクランク状となっており、バリアフリーなどの観点も含め、快適な歩行空間となっていない。そこで、交通島内の植栽樹を撤去し、歩行者通路を直線化することで、快適な歩行者空間を創出する。

### (2) 植樹柵内の樹木の移植

交通島内の植樹柵に植樹されている『梅の木』は、歩行者通路の直線化により支障するため、移植する。

### (3) 喫煙スペースの再整備

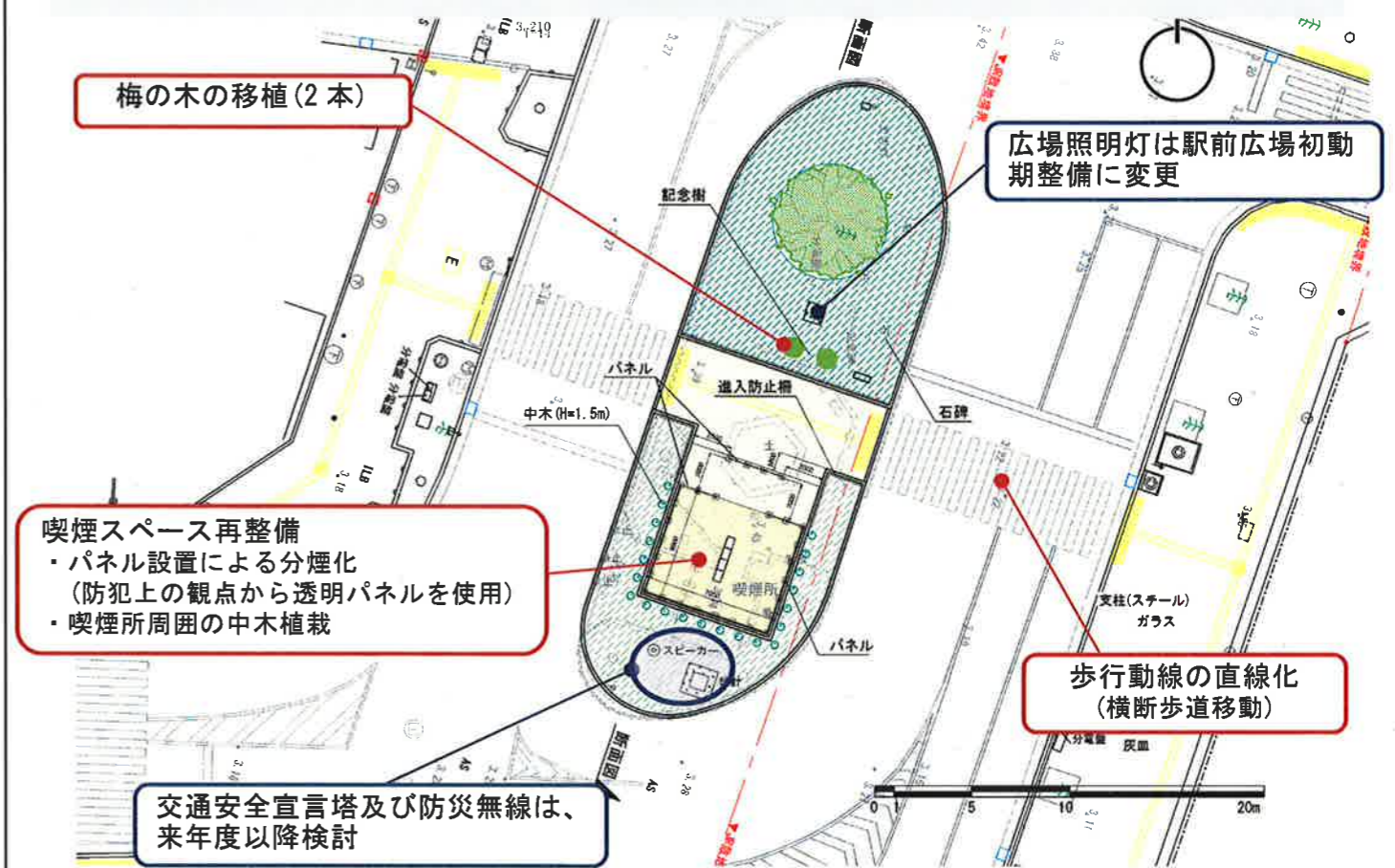
現在の喫煙スペースは、多いときには 20 人程度が利用しているが、スペースが狭いため歩行者通路上で喫煙し、さらには吸殻を通路上にポイ捨てる状況がみられる。このままでは、環境衛生上、維持管理上問題があるため、喫煙スペースの拡張とパネルの設置（防犯上の観点からパネルは透明パネルを使用する。）による分煙化を図り、さらに景観への配慮として、喫煙スペースを中木で囲う。中木の種類は下表より、常緑樹とする。

評価の視点	中木の選定	常緑樹	落葉樹
視覚的な空間分離 喫煙者、非喫煙者双方にとって快適な空間であること		○ 年間を通じて葉をつけるため、視覚的な空間分離が図られる。	△ 冬季は葉が落ち、ガラスパネル越しに見通すことができる。
維持管理 清掃の負担、コストが低いこと		○ 落葉時の負担、コストが比較的小さい。	△ 落葉時の負担、コストが比較的大さい。
景観性の向上 季節の変化が感じられる豊かな景観づくり		○ 年間を通じて葉をつけるが、紅葉する樹種や花の咲く樹種を選ぶこと季節感を与えられる。	○ 新緑、紅葉、落葉など四季の変化が豊かで、季節感を与えられる。
評価		○	△

### (4) その他施設整備

交通島改修時に現在の広場照明灯を変更してしまうと、広場全体の照度が確保できなくなるため、駅前広場初動期整備の際に変更する。また、防災無線及び交通安全宣言塔については、来年度以降検討する。

## 整備方針



## (4) 交通島の初動期整備の対象

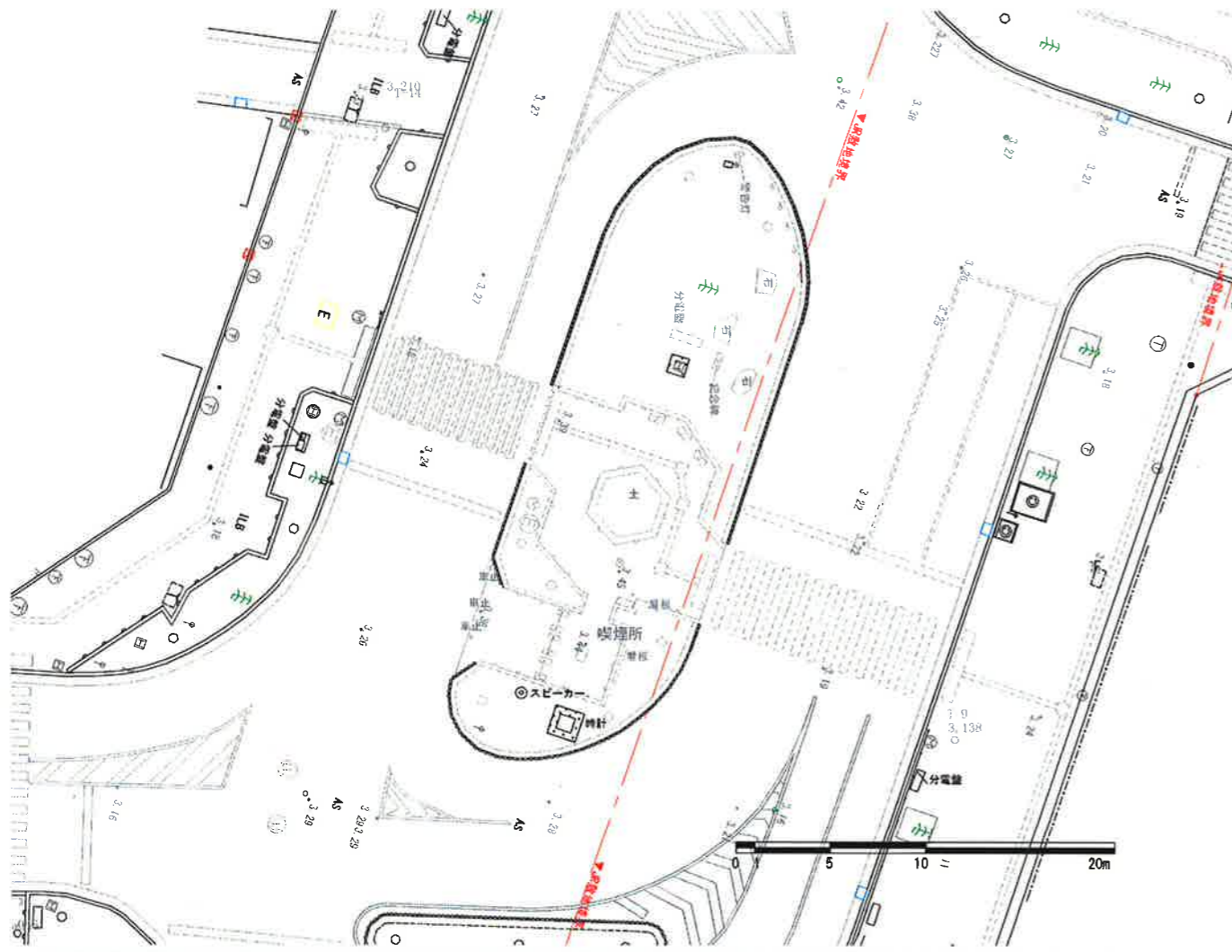
### 交通島の整備対象



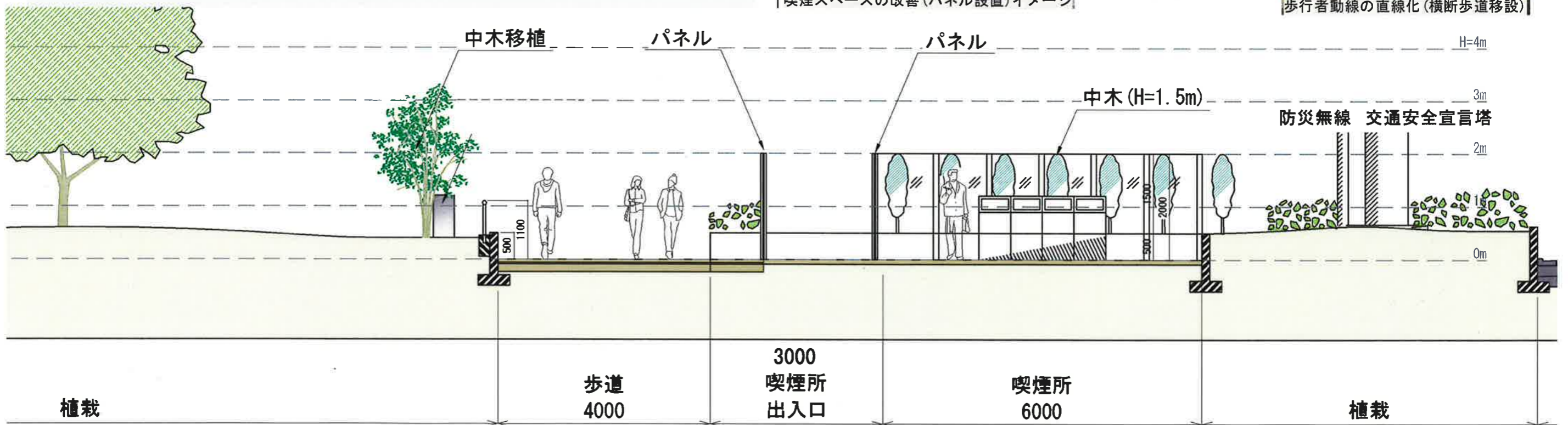
### 駅前広場初動期整備対象



現在



計画断面



計画平面

